

「日常の有難さと秋を感じながら」

◇10月1日に発行した『貴志南っ子』では、「明日の運動会、応援をよろしくお願いいたします」という記事を書きました。お陰様で、10月2日(土)の運動会は、雲一つない晴天の下、無事に執り行うことができました。お茶や着替えの準備、当日に向けての日々の励ましなど、さまざまな面でご協力いただきありがとうございました。育友会役員の皆様には、運動会当日も朝早くから運営がスムーズにいくようお手伝いいただきありがとうございました。子供たちにとっても満足のいく運動会になったのではないかと思います。



◇運動会が終わった次の日の夜から、断水となりました。月曜日はもともと運動会の振替休業日だったのですが、学校は朝から給水所となり、朝7時から夜8時まで給水活動を行いました。初日は給水車がなかなか来なかったため、学校の奥にある受水槽からの給水となり、来ていただいた方には重い水を抱えて長い距離を歩いていただき申し訳なかったです。だんだんと、かつらぎ町や紀美野町など県内の給水車、豊中市・桜井市・倉敷市・広島市・野洲市・湖南市・広島市など県外の給水車や自衛隊の給水車などたくさん来てくれるようになり、受水槽までいなくても給水できるようになりました。多くの方に支えていただいたことに本当に感謝ありません。

◇給水に来ている子供たちの姿もたくさん見ました。

水や電気は使えるのが当たり前のようになっているので、それが使えないとなると本当に大変ですが、「こういう経験も大切だと思います」と話してくださった方もたくさんいました。『経験は力』。水は止まることもある、水がないと生活はどうなるか等、子供たちが身をもって経験したことは、きっと子供たちの力になっていると思います。また、多くの人に助けってもらったこともよい経験でした。皆さま、本当にお疲れさまでした。



《給水車見学の様子》



◇給水の頃は10月なのに30℃を超える毎日でしたが、一気に気温が下がり冬モードになっています。ただ、体も気持ちも急な変化に対応できないので、風邪気味の子供も(大人も)増えてきています。ようやく落ち着いてきた日々、体調を整えながら、「読書の秋」「スポーツの秋」「勉強の秋」「芸術の秋」など、いろいろな秋を楽しみたいですね。

啄木鳥や落葉をいそぐ牧の木々 (水原秋櫻子)

< 学校長 >